



サンタクロースって本当にいるの？

今日は、クリスマスにちなんだ話をひとつ紹介します。サンタクロースの話です。

みなさんはサンタクロースって信じていますか？ 私は実は信じています。私の年齢でそう言うと、笑う人もいられるかもしれませんが、なぜ、信じているのか、そのエピソードを紹介します。

今から8年ほど前ですが、長男が中学生、長女が小学4年生、次女が2年生の時です。クリスマスがまもなくやってこようとする日、クリスマスツリーを見ると、子どもたちからサンタクロースに宛てた手紙がありました。

「ペットが欲しいです。犬を飼いたいです。おうちに来ますように。」

私は、これはちょっと難しいお願いだなと思いましたが、私もその願いに合わせて次のように手紙を書きました。

「どうかダックスフンドが我が家に来ますように。」

そんな、ある晩のことです。夢の中にサンタクロースがでてきて、ある言葉を言いました。ある言葉とはどんな言葉かは、最後にお伝えします。翌朝、私はその言葉を思い出しながら、

「どうか子どもたちの願いが叶いますように」

とサンタへの手紙を添えました。でも、突然、朝起きて枕元やツリーの下に犬がいたらびっくりですよ。ありえない話ではあるので、妻と一緒にインターネットで「保護犬」「犬を譲ります」のコーナーで、譲ってもらえそうな犬を検索しました。なかなか、小さな子犬が見つかりません。そんな時に、たまたまヒットした次の投稿がありました。

「犬種ダックスフンド、2歳、オス、お譲ります。大阪市在住。お子さんが複数いるご家族へ」

私たちは、すぐに申込みをしました。申込みの際し、家族構成とコメントを記入してくださいとのことでしたので、「家族構成は5人家族です。両親2人と3人の子どもがいます。子どもたちが犬を飼いたいとサンタさんをお願いをしました。どうかその願いが叶いますように」とコメントを入れました。

クリスマスが過ぎて、1月になってからですが、犬の飼い主から「西村さんと一度、お会いしたいです」と電話がかかってきました。早速、日程を合わせて家族みんなで飼い主のところに行きました。そしたら、その犬もとっても嬉しそうに私たちになついてくれたので、飼い主の方も「お譲りします」と返事をくれました。海外に赴任することもあり、犬が飼えなくなったとのことでした。

こうして、我が家にダックスフンドがやってきました。名前は、ジョディ (Jody) と言います。我が家の家族の一員として楽しく暮らしています。今年の4月で10歳になりました。



ジョディ (Jody)

さて、サンタクロースが私に夢の中で伝えた言葉って何だと思いませんか。その言葉を紹介します。

「私は、人の幸せを願う人の願いを叶えます」

それ以来、時々、その言葉を思い出しています。サンタクロースが本当にいるかどうかはわかりませんが、世界にはたくさんのサンタクロースがいて、人々の幸せを願い、日々活躍してくれているように思っています。

それでは、今年もみなさんにとって素敵なクリスマスになりますように！